

令和4年度

## 目黒日本大学中学校

## 入学試験問題

## 社 会

試験時間 30分

## 注意事項

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- この問題冊子は、全8ページあります。
- 解答用紙は、問題冊子の中にはさんであります。試験開始の合図がありましたら、解答用紙を取り出してください。
- 解答はすべて解答用紙の決められた欄らんに記入してください。
- 試験中に質問がある場合は、手を挙げて監督者かんとくしゃに知らせてください。
- 試験終了後、監督者の指示にしたがって解答用紙を提出してください。
- 用紙に、受験番号・氏名を記入してください。

受験番号	氏 名



1 以下の文章を読み、あとの問いに答えよ。

2021年7月、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産委員会は、17の遺跡<sup>いせき</sup>で構成される①「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を決定した。この決定により、日本における世界文化遺産としては、2019年に登録された [ 1 ] に続き20件目の登録となる。日本で初めての世界文化遺産は、1993年に登録された、奈良県の法隆寺<sup>ほうりゅうじ</sup>地域の仏教建造物と兵庫県の [ 2 ] である。この決定の前日には、同委員会において、鹿児島県および沖縄県の「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」<sup>あまみ おおしま とくのしま およ</sup>の②世界自然遺産への登録も決定し、国内の世界文化遺産と世界自然遺産の合計は25件となった。

締約国の国内法によって、適切な保護・管理体制がとられていることが必要である。世界自然遺産への登録は、③自然環境の保護・保全にも大きくつながるものである。

問 1 下線①について、この縄文遺跡群<sup>ふく</sup>に含まれる遺跡として正しいものを次から1つ選び、記号で答えよ。

ア 吉野ヶ里遺跡      イ 岩宿遺跡      ウ 登呂遺跡      エ 三内丸山遺跡

問 2 文章中の空らん [ 1 ] と [ 2 ] に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを次から1つ選び、記号で答えよ。

ア	[ 1 ] : 石見銀山遺跡とその文化的景観	[ 2 ] : 姫路城 <sup>ひめじじょう</sup>
イ	[ 1 ] : 百舌鳥・古市古墳群—古代日本の墳墓群— <sup>もず ふるいち こふんぐん</sup>	[ 2 ] : 姫路城
ウ	[ 1 ] : 石見銀山遺跡とその文化的景観	[ 2 ] : 紀伊山地の霊場と参詣道 <sup>きいさんち れいじょう さんけいどう</sup>
エ	[ 1 ] : 百舌鳥・古市古墳群—古代日本の墳墓群—	[ 2 ] : 紀伊山地の霊場と参詣道

問 3 下線②について、日本の世界自然遺産として正しいものを次からすべて選び、記号で答えよ。

ア 白神山地      イ 原爆ドーム<sup>げんぱく</sup>      ウ 小笠原諸島<sup>おがさわら</sup>      エ 富士山

問 4 文章中の下線③について、以下の問いに答えよ。

(1) 次の A ～ C の問いに答えよ。

- A 正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」という、多くの生物がすむ重要な湿地を国際的に登録して守っていくための条約名をカタカナで答えよ。
- B 貴重な自然環境をとどめている土地などを、人々から寄付金を募り買い取るなどして保護していく運動を答えよ。
- C 事業や開発を行う際、環境におよぼす影響を事前に調査し、環境の破壊を未然に防止する取り組みを答えよ。

(2) 以下の気候変動に関する国際会議の取り組みについて、年号の古い順に並べ替えよ。

- ア ブラジルのリオデジャネイロで開かれた国連環境開発会議（地球サミット）において、「気候変動枠組条約」や「生物多様性条約」が調印された。
- イ スウェーデンのストックホルムにて開かれた国連人間環境会議において、「かけがえない地球」をスローガンに、「人間環境宣言」が採択された。
- ウ 地球温暖化防止条約を結んだ国々によって行われた、地球温暖化防止京都会議では、先進国の温室効果ガス排出量削減などを定めた「京都議定書」が採択された。
- エ 南アフリカのヨハネスブルグで行われた環境開発サミットにおいて、各国の首脳による持続可能な開発に向けた政治的意思を示す「ヨハネスブルグ宣言」が採択された。

(3) 以下の説明 A・B は、日本における環境問題への法律の整備について説明したものである。その正誤の組み合わせとして正しいものを次から 1 つ選び、記号で答えよ。

- A 公害反対運動が広がり、国は、1967年に、公害を規制する「公害防止法」を定めた。
- B 1993年に成立した「環境基本法」では、あらゆる環境問題に対応するための基本理念を定めた。

ア A：正 B：正 イ A：正 B：誤 ウ A：誤 B：正 エ A：誤 B：誤

2 以下の地形図に関して、あとの問いに答えよ。



(国土地理院 1/25000 八ヶ岳より作成)

- 問 1 地形図中にある八ヶ岳から東の方向を見ると、野辺山原の高原地帯が広がっているが、そのまま平地や盆地にならず、いくつもの山が迫っている。この地形を観察したドイツ人の地質学者ナウマンが、後の研究で「大きな溝」と発表した。この「大きな溝」と呼ばれる地形をカタカナで答えよ。
- 問 2 地形図中の東にある千曲川は日本で最も長い川の一部である。この川は、新潟県に入ると何と呼ばれているか答えよ。
- 問 3 地形図中の野辺山原周辺は高原野菜が有名である。中央自動車道などの開通によって「鮮度を保ったまま」出荷できるようになったシステムを何というか答えよ。

問 4 この地形図から読み取れる事として正しいものを次から1つ選び、記号で答えよ。

- ア 千曲川は信濃川上駅付近で南の方向に流れを変えている。
- イ 清里駅から西にある天女山は長野県の東部に位置している。
- ウ 海尻駅、佐久海ノ口駅の名前は、縄文時代に日本海と太平洋がつながっていた海であったことから由来している。
- エ 美し森の西側斜面にはスキー場のリフトが見られる。

問 5 野辺山駅はJR線内で一番高い標高（1345.67m）にある駅である。この近くには分水界（尾根を境に雨水が分流する場所）がある。北流は千曲川を流れて日本海へ注ぎ、南流は釜無川・笛吹川を流れて静岡県内の「ある川」に合流して太平洋へ注がれる。日本三大急流にも数えられる「ある川」の名称を次から1つ選び、記号で答えよ。

- ア 最上川
- イ 富士川
- ウ 四万十川
- エ 球磨川

問 6 長野県において、出荷額が全国5位以内に含まれない果物を次から1つ選び、記号で答えよ。  
注「令和2年農林水産省統計」

- ア リンゴ
- イ ブドウ
- ウ モモ
- エ イチゴ

問 7 長野県において、生産額が全国3位以内に含まれない製品を次から1つ選び、記号で答えよ。  
注「政府統計の総合窓口 e-Stat」

- ア 顕微鏡・拡大鏡
- イ スキー・スケート用品
- ウ 味噌
- エ 醤油

問 8 日本アルプスの3つの山脈を北西から順に並べたものを次から1つ選び、記号で答えよ。

- ア 赤石山脈・飛驒山脈・木曾山脈
- イ 飛驒山脈・木曾山脈・赤石山脈
- ウ 木曾山脈・飛驒山脈・赤石山脈
- エ 赤石山脈・木曾山脈・飛驒山脈

問 9 長野県長野市には善光寺がある。有力な寺院を中心に文化的、経済的に形成された町を何というか。次から1つ選び、記号で答えよ。

- ア 宿場町
- イ 港町
- ウ 門前町
- エ 城下町

問10 長野県の山間部は古くから林業で生計を立ててきた。日本三大美林のうち、長野県にあるものを答えよ。

3 以下の会話文を読み、あとの問いに答えよ。

先生：今日は、明治時代までの産業の発展とその特徴<sup>とくちょう</sup>を振りかえりましょう。

生徒A：縄文時代から弥生時代には、①土器<sup>とくわ</sup>や磨製石器、金属器の生産が行われていました。

飛鳥時代にかけて、渡来人が養蚕<sup>ようさん</sup>・機織<sup>はたおり</sup>、陶器、土木技術のほか、鉄製農具の生産技術などをもたらしました。

先生：国家が仏教を保護した奈良時代の産業はどうですか。

生徒B：東大寺など多くの寺院が建てられたので建築業が発展し、仏像などの生産も行われました。

それと、平城京には政府が運営していた市があり、商業も少しずつ発展し始めました。

先生：では、このころつくられた和同開珎がほとんど流通しなかったのはなぜですか。

生徒A：当時は、 ではないですか。

先生：そうですね。

平安時代は貴族の時代ということを考えると、衣服をつくる織物業が発達しました。

また、日宋貿易で大量の宋銭が輸入されたことで、貨幣で売買が行われ始めましたね。

生徒A：鎌倉時代から室町時代にかけては、②農業技術の向上で増加した収穫物などが定期的に売買されたことで、貨幣の使用も一般的になり商工業が大きく発展しました。

生徒B：遠隔地との取引も増えたから、権力者は関所や港の通行税を取ることができたんですね。  
戦国時代や安土桃山時代には、大名の領国では鉱山開発のほか、楽市・楽座などで商工業を活発にするための政策が行われました。

先生：戦が終わり安定した江戸時代には、幕府やそれぞれの藩が新田開発や産業育成に力を入れたことで、手工業が急速に発達し各地で特産物が生産されました。③それぞれの産業のつながりに目を向けると、たがいの発展を支えあっていることがわかります。

生徒B：④統一貨幣がつけられたことで、輸入銭の時代が終わったことも見逃せないですよ。

先生：権力とお金というテーマにもつながるよい気づきですね。

さて、最後は近代・現代の産業について確認しましょう。明治政府は富国強兵に力を入れ、二度の戦争を経て⑤産業革命を実現しました。そのためには、⑥資本主義の仕組みを導入し、確立しなければならなかったのが困難の連続でした。

生徒A：日本の近代化を実現するためには、戦争は避けられなかったのですか。

先生：その疑問にいたることが今日の目的の一つでした。一つの結論を導くことは難しいです。資本主義国が世界中に植民地を求めて競い争う流れのなかで、日本が産業革命を実現できたのはなぜかというところにヒントがあると思います。様々な視点で歴史を振りかえりながら答えを探していきましょう。

問 1 下線①について、弥生土器の特徴として正しいものを次から1つ選び、記号で答えよ。

- ア 厚みがあるがもろく黒褐色こくかつしよくをしている。
- イ 薄いが硬く赤褐色せかつしよくをしている。用途に合わせてさまざまな形がつくられた。
- ウ 高温になるのぼりがまで焼かれたため硬くて灰色はいしよくをしている。
- エ 円とう形や人物や動物、家形などをかたどったものがある。

問 2 会話文の空らん  に適する文章を答えよ。

問 3 下線②について、次の問いに答えよ。

- (1) 鎌倉時代の農業技術の進歩の特徴について、具体例をあげて文章で答えよ。
- (2) 室町時代の産業の特徴の説明として正しくないものを次から1つ選び、記号で答えよ。

- ア 稲・麦の二毛作が各地に広まり、京都周辺の地域では三毛作が行われ始めた。
- イ 京都の西陣織、美濃みのの和紙、摂津せつづの酒、備前びぜんの刀剣などの特産物が職人によってつくられた。
- ウ 権力者の保護を受けた商工業者は、株仲間をつくり製造や販売を独占した。
- エ 定期市がさかんになり六斎市ろくさいいちが開かれ、京都周辺では大原女おはらめ・桂女かつらめなど女性の行商人も多く活動した。

問 4 下線③について、江戸時代の各産業の説明として正しくないものを2つ選び、記号で答えよ。

- ア 農村では農業生産力を高めるために、金肥きんぴとよばれる干したいわしや菜種なたねのしぼりかすなどが肥料として使用された。
- イ 各地で手工業が発達し、江戸時代後半にはマニファクチュアによる生産が絹織物や綿織物などで見られるようになった。
- ウ 貨幣経済の発達で金・銀・銅の需要が高まったが、金山では佐渡・石見・別子などが知られる。
- エ 大名は江戸や大阪の蔵屋敷くらやしきに運んだ年貢米ねんぐや特産物を、商人を通じて換金かんきんした。
- オ 大阪から江戸を結ぶ西廻り航路にしまわでは、北前船きたまえぶねがしょう油や酒などを運んだ。

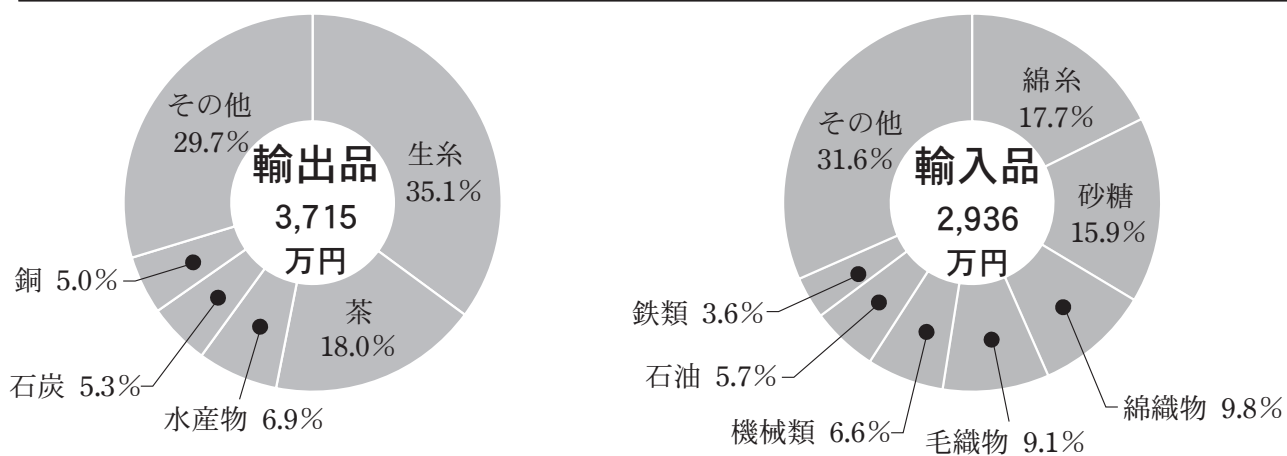
問 5 下線④について、1636年以降につくられ全国に流通した錢貨せんかを次から1つ選び、記号で答えよ。

- ア 富本錢
- イ 永楽通宝
- ウ 天正大判
- エ 寛永通宝

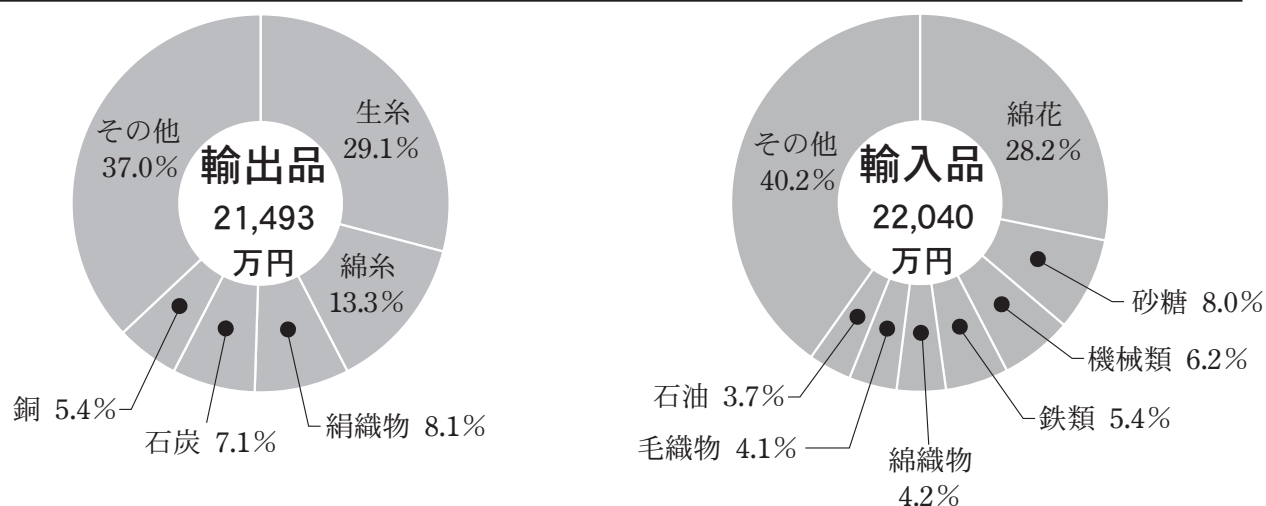


問 6 下線⑤について、【品目別の輸出入のグラフ】を参考にして、次の問いに答えよ。

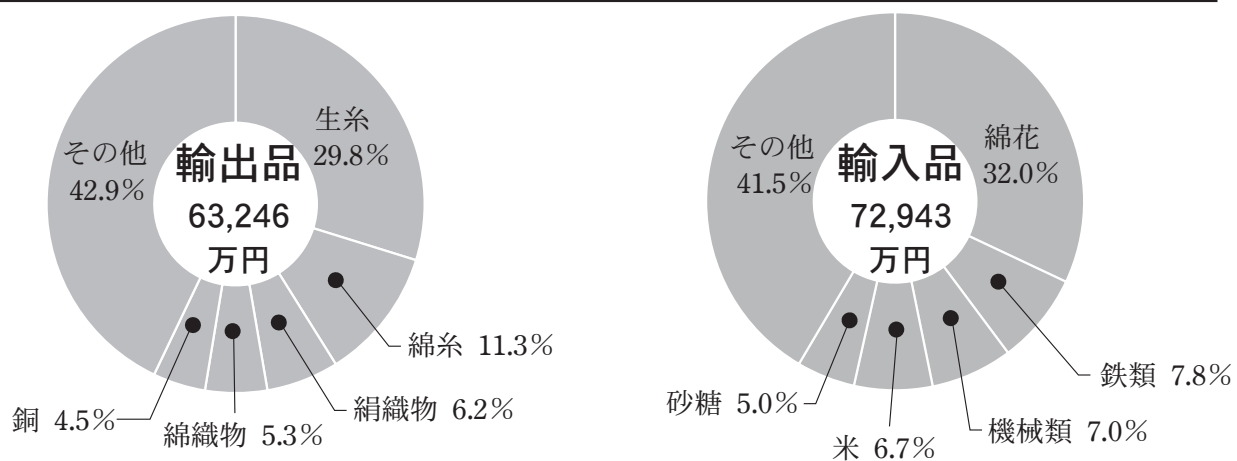
1885年



1899年



1913年



(『日本貿易精覧』東洋経済新報社より作成)

(1) 円グラフから考えられる内容として正しくないものを次から1つ選び、記号で答えよ。

- ア 輸出の主力品である絹関連の産業が日本の貿易を支えていたことが考えられる。
- イ 明治時代中期には、原材料を輸入し製品を輸出していることから、産業革命が本格的に始まっていたと考えられる。
- ウ 明治時代中期以降は大幅な輸出超過であることから、大正時代になっても日本では産業革命が進まなかったと考えられる。
- エ 日本は大正時代までには工業化したがる、重工業分野が不得意であったことが考えられる。

(2) 1913年の円グラフでは「米」が輸入品の第4位となっている。産業革命の進展と「米」の輸入開始との関係を考え、次の文章の空らん  ・  に適する対となる語句を答えよ。

「産業革命を達成した日本は、人口の移動がおり、 中心の社会から  中心の社会へと変化した。」

問 7 下線⑥について、資本主義のメリットとデメリットを文章で答えよ。

以下余白



